



2015 ~ 2016 年度
R I テーマ

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン (国籍・スリランカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野 教康	理事	西馬 良和	役員	会長	平野 教康	S A A	前田 哲矢
〃	梶原 和朗	〃	村津 忠久	副会長	梶原 和朗	直前会長	前田 哲矢	
〃	後藤 隆	〃	亀井 孝	幹事	佐々木久宜			
〃	森園 伸也			会計	衛藤 秀子			

VOL. 28 - 32
2016 年 3 月 15 日

第 1271 回 例会

会報委員長 堀 由美

◆点 鐘 12 : 30

◆R S 別府中央 R.C. の歌

◆唱 歌 とんぼのめがね

◆ゲ ス ト 安達 澄氏
(株 DMO ジャパン 代表取締役)

会長の時間 会長 平野 教康

皆さん、こんにちは。

本日は株式会社 DMO ジャパン 代表取締役 安達 澄の講話が聞けます。

安達様は、別府市長選に出られたりして別府市の将来を日夜お考えの方とお聞きしています。会社も設立したばかりと聞きますが、これからどんな別府を考えているのか楽しみです。

宜しく願いいたします。

◆出席報告 委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	28 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	3 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	5 名
	出 席 率	79.17 %
	出 席 率	79.17 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
3/1	出 席 免 除	3 名
	修 正 出 席 率	79.17 %

連 続 一 回
通 算 750 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 西林、堀、亀井、中尾、島田
理事会承認 森
出席免除 溝部、河村、木村



幹事報告

佐々木久宜

一水と衛生月間一

1. 本日の卓話

「大分県のインバンド観光を元気にする」

(株)DMOジャパン

代表取締役 あだち きよし 安達 澄氏

2. 本日のゲスト

あだち きよし 安達 澄氏 (株)DMOジャパン 代表取締役)

3. RI第2720地区熊本菊南ロータリークラブ創立

30周年記念例会・式典のご案内

開催日 平成28年6月4日(土)

14:30~受付開始

15:00~記念例会式典・記念講演

17:40~祝宴

会場 菊南温泉ユウベルホテル本館2F

「光の間」

記念講演 「一言芳恩を胸に日本留学がくれたもの」

2010~2011年度米山奨学生

李 智麗さん

登録料 会員10,000円 ご家族8,000円

*詳細・登録申込みは、幹事または事務局までお申し出ください。

4. お祝い

結婚記念日 村津忠久会員(3月15日)

中尾 誠会員(3月18日)

配偶者誕生日 近藤なな子さん(3月17日)



5. 例会変更のお知らせ

杵築RC 3月17日(木)の例会は定款第6条第1節(C)に基づき休会

大分臨海RC 3月28日(月)の例会は、夜例会の為 同日18:30~TIME Bar & Restaurant に時間・場所変更

津久見RC 3月29日(火)の例会は、3クラブ合同観桜例会の為 3月30日(水) 18:30~喜楽庵に日時・場所変更

中津中央RC 3月29日(火)の例会は花見例会の為、同日18:30~SOL(ソル)に時間・場所変更

別府北RC 3月30日(水)の例会は定款第6条第1節(C)に基づき休会

大分東RC 3月31日(木)の例会は定款第6条第1節(C)に基づき休会

中津平成RC 3月31日(木)の例会は定款第6条第1節(C)に基づき休会

別府東RC 3月31日(木)の例会は定款第6条第1節(C)に基づき休会

6. 次回例会の予定

「会員卓話」

鳴海淳郎初代会長(創立27周年記念日(28日))

7. 本日の回覧

① 中津RC、竹田RC 週報

② 「もみじ谷植樹作業」出・欠席

③ 「花見例会」出・欠席

④ 「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」出・欠席

⑤ 2016-2017年度版ロータリー手帳 希望購入

⑥ ハイライトよねやま192

8. 本日の配布

① 週報No.1267,1269,1270



スマイルボックス 委員長 近藤 賢司

○平野(教)会長

安達様、本日はようこそ別府中央ロータリーへ。別府の将来を語ってくださるそうで、楽しみにしています。

○梶原会員

来週末、地区大会ですね～。行かれる皆さん、何とかホテルを西林さんの力により予約出来ました。段取りが悪くてすみません。予定はFAXにて流します。

安達様、ようこそ別府中央RCへ。卓話たのしみにしています。

○佐々木会員

先週現場にジャンパーを忘れ、とても寒い一週間を過ごしました。風はひきませんでしたがとても辛かったです。忘れものには気を付けましょう。

安達さん、今日はよろしくお願ひします。

○村津会員

昨日、入院中の森会員に会って来ました。

一昨年1月と9月、昨年6月、そして今月と、僅かな間に4度も大手術をされておられます。

それにも負けずに、明るい顔をしておられました。

御本復と、またの手術が有らせぬよう、真剣に祈りましてスマイル。

○衛藤会員

今日はいくらか暖かく、楽ですね。

安達様、ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりなさって下さい。

卓話楽しみにしています。



○高宮会員

安達澄さん、ゲスト卓話楽しみにしています。

○近藤会員

新春恒例の箱根駅伝を連覇した我が母校青山学院の陸上部が我等が郷土大分で合宿中です。大学箱根駅伝の3連覇を祈念してスマイル。

○前田会員

安達様ようこそ。卓話楽しみです。先週例会、誕生日の祝い出張の為欠席しましてすみませんでした。

○森園会員

安達様、ようこそ！別府中央RCへ。

本日、仕事の都合上、途中で失礼します。卓話が聞けずに残念です。お詫びしてスマイル。

○土谷会員

寒さが若干やわらいで来ました。今月と来月は中国大会のオークションで欠席の週がありますが申し訳ありません。これで飯を食べていますので、ご了承下さい。

卓話

「大分県のインバウンド観光を元気にする」

㈱DMOジャパン

代表取締役 安達 澄

日本人の嗜好の変化や外国人観光客が増えるなか、従来の物見遊山ではなく、着地型・体験型と言われる新しい観光形態が最近求められています。着地型とは、観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合・現地解散するというものです。

県内には旅行会社が多数ありますが、その多くは地元顧客を海外や東京など県外に連れて行く、いわゆるアウトバンドの業務が中心です。外から大分にやってくる人（インバウンド）のための仕事をしている会社はほとんどありません。ニーズや環境変化、需給バランスを勘案すると、インバウンドは大きな可能性を秘めていると考えます。

加えて、ニッポンに対する海外からの評価や関心も高くなっています。アニメから始まったクールジャパン。いまでは関心は文化、ファッション、



食など多岐にわたります。海外にある日本食レストランは2010年に3万軒だったのが、15年には約9万軒にも増えています。昨年開催されたミラノ万博の日本館は10時間待ちの日もあり人気No.1だったそうです。そして、GDPに占める観光消費の世界平均は9%、日本はわずか5%しかありません。つまり、伸びしろがあるということです。

国や県の動きはどうでしょうか。安倍総理は観光産業を日本経済の牽引役にするとして述べていますし、県も「おんせん県おおいた」を大々的にPRしています。19年のラグビーW杯、20年の東京オリンピックなどビッグイベントが控えるなか観光産業、インバウンド観光への期待は高まるばかりです。

その一方で、観光関係者や旅行者からは「大分県は観光素材は豊かだが、別府・湯布院以外の認知度は低い」「旅慣れた人にとって、別府・湯布院の大分はもう行き尽くした場所という感じ」といった声をよく聞きます。海外からの旅行者が日本を選ぶ理由の上位は「食」「自然や風景」「温泉」「歴史・文化」という調査結果があります。大分県には、すべてが揃っています。しかも、他県を凌駕する本物です。それらを生かしきれずに、別府・湯布院に留まって、観光客が県全体に広がらないのは本当にもったいないと思います。

では、人はどんな所に行きたがるのでしょうか。例を挙げると、東京にある築地市場。なんと毎朝、約3万人の観光客が訪れています。観光客は、日本独特のシステムであるセリを見学したり、新鮮な魚を食べたりします。人気店は朝から1時間待ちの大行列です。食の力は凄いのです。2つ

目は、飛騨古川に里山をサイクリングするツアーがあり、欧米系の観光客に大人気です。農村をただ回るだけですが、外国人はその風景や雰囲気を感じます。ツアーの途中で湧き水を飲むのですが、世界では水道水すら飲めない国がほとんどのなかで（飲めるのは世界で15カ国、アジアでは日本だけ）、湧き水が飲める国ニッポンはそれだけでも驚きです。われわれの日常は、外国人にとって非日常なのです。ほんの一例ですが、食や湧き水。大分県はどこにも負けません。

インバウンド観光で大切な視点は、特別なことを施すのではなく、ありのままの日本や大分を楽しんでもらうことだと思います。その方が持続もできますし、地域も日々の営みに誇りをもてます。（詳細は割愛しますが）県内にはたくさんの宝があります。点在しているそれらをうまくつないで、大分県全体の観光を盛り上げる。その要は、何と云っても知名度や宿泊キャパで県内で群を抜く別府だと思います。別府にはたくさんの人々が集まります。別府に宿泊する観光客に、県内のあちこちに足を伸ばしてもらい、また別府に戻って宿泊してもらおう。まずは別府と県内の各地をつなぎ、1泊を2泊に、2泊を3泊に。さらに大分県の多様性を発見してもらい、「また来たい。次は●●に行きたい」というリピーターを増やすことを目指すべきではないでしょうか。

私の力だけでは何もできませんが、観光に携わる皆さんや地域とともに、いまある宝を生かし、モノではなくコトで、大分県を元気にしたいと思います。

